

鹿島槍ヶ岳～五竜岳縦走記 2010.8/1～3

7/31 (土) 18:00 下山口のエスカルプラザで合流し、下山時用の車1台置く。新潟組は大町のN氏宅に泊。

8/1 (日) 5:00 N氏宅～コンビニ寄り～5:30 扇沢の登山口 P 5:40～7:20 第一ケルン～10:40 種池山荘(昼) 11:35～12:45 爺ヶ岳 (2670M) 13:05～14:20 冷池山荘(泊)



爺ヶ岳手前にいた雷鳥



布引山山頂・左は剣岳

扇沢の駐車場も少し空きがあった。生憎の曇り空で途中からの針の木岳はとうとう顔を見せず。種池山荘は賑わっている。此处から山頂間は雷鳥が多く生息しているし、今日のようなガスっぽい天気は良く遭遇できる。案の定何羽か目撃できた。爺ヶ岳山頂からも展望無し。小屋が混むのが心配だったが、何とか布団一つに一人であった。自炊室で宴会。夕方外へ出ると近くの展望が出来た。

8/2 (月) 5:40～7:00 布引山 7:10～8:07 鹿島槍ヶ岳 (日本百名山、2889M) 8:25～北峰 9:15～10:40 キレット小屋 (昼) 11:20～16:00 五竜岳 (日本百名山、2814M) 16:10～17:00 五竜山荘 (泊)



鹿島槍ヶ岳・左右の山は立山と剣岳



鹿島槍山頂手前からの剣岳の勇姿

午前中は青空で特に立山～剣岳方面の展望が素晴らしかった。長野県側の展望はキカナイ。八峰キレットは〔難所〕とは言えない。むしろ北尾根の頭～G5、G4間の方が初心者には注意が必要と思う。それにしても私の百名山の時は扇沢から入り、キレット小屋泊で翌日は夜中に小屋を出てヘッドランプで歩き、五竜岳で日の出を仰ぎ、昼前には八方尾根を下り白馬に下山していた。若い体育の先生と一緒にとは言え、元気で危険など全然感じなかった。2回目は2004年7/28～30に「北アルプスの全登山道踏破」の目的で、歩いていなかった遠見尾根から入り、同じく歩いていない赤岩尾根で下った。其の時は4:25に五竜山荘を出て、新装なった冷池山荘に13:00着だった。あまり天気は良くなかった。ロノ沢のコル付近では目の前を熊が横切った。何故3度目かと言うとこの区間の展望を楽しみたかったのと、12月からの過疎地の郵便配達地から眺める鹿島槍ヶ岳の勇姿が影響した。



イワギキョウ。沢山咲いていました



シコタンソウ、ヨツバシオガマ、
タカネツメクサ、ウルップソウ

前回お目にかかった、タカネバラに再会できたし、高山植物もそれなりに楽しめた。ただ「G4」付近のウルップソウは日当たりが良く雪解けが早いせいか全て咲き終わりであった。Oさんは熱心に「花の写真」を撮っていた。午後は雲が出て後半は展望がなくなった。雷が心配だったが、遅い到着でも幸い雷も夕立も無く小屋へ到着できた。案の定五竜山荘は混んでいたが、何とか布団一つに一人寝できた。でも経営する「白馬館」の利潤追求第一主義が良くない。狭い廊下にザックや靴を置かせるが空気が無いので、布団へ持ち込むようになる。大体2階を使わないで、一階に詰め込む根性が気に食わない。山小屋の掃除に如何ほどの手間が掛かると言うのか。缶ビールも600円と前日より50円高い。タトーをした若いのがアルバイトにいたが、最初は調理場で働いていたが、配膳に出てきたのには以外だった。人目につきずらい所で使うべきだ。総じて経営センスがゼロと言える。空いていた自炊室で宴会。

8/3 (火) 6:10~大遠見山 7:57~10:05 方位盤~11:05 エスカルプラザ P ~
11:20 十朗の湯入浴、昼食 13:00~13:35 扇沢 P 13:40~14:10 自宅



遠見尾根へ下山路の五竜岳の勇姿



遠身尾根下山路に歩いたコースと鹿島槍ヶ岳

今日は下山のみだが早めに出発。途中までは青空が多く五竜岳や縦走したルートを振り返ったり、鹿島槍を眺めながら歩く。ミヤマアズマギクの群生地があったが見事だった。リフト乗り場が近ずいてからのシモツケソウの群生も見事だ。この付近からは観光客も多くなり「高山植物園」含めて気軽に花を楽しめる。ヒマラヤの青いケシが人気のようだ。ゴンドラ乗り場で「冷いオシボリ」くれたが、気の聞いたサービスで感心。

まあまあ天気？の3日間で無事解散。それにしても73歳とは思えないN氏の頑張りに脱帽！お元気です。